

広州日本人学校通信

広州日本人学校



横田 亮

2月号

Japanese School
of Guangzhou

広州日本人学校 たて割り活動の紹介

広州日本人学校では、毎週水曜日昼休み「キッズタイム」というたて割り活動を行っています。小学部1年生から6年生までの児童335名が6色×4グループ=24グループに分かれて活動します。月に一回は中学部の生徒も参加します。小学部6年生がリーダーとなって、遊びの企画をしたり進行したりします。小学部最高学年である6年生の活躍の場として設定しています。1月からは、小学部5年生がリーダーを引き継ぎ、最高学年への準備を始めます。こうして、JSGの伝統が引き継がれていきます。

さらに、小学部ではゲームラリー大会を行いました。1年生から6年生のたて割りグループで各ポイントを回り、与えられたミッションができればミッションクリアとなります。サッカーの上手な先生からボールを取ったり、大縄跳びや輪投げで記録に挑んだりしました。また、校長先生とじゃんけん勝負したり、大画面に映したウォーリーを探したり、校歌を歌ったりしました。どのグループも、全員で作戦を立て、心をひとつにしてミッションに挑戦する姿が見られました。

中学部では、スポーツ大会を行いました。生徒会や体育委員会が中心となって企画・運営し、来年度新たに中学部の仲間に加わる小学部6年生も一緒に参加しました。

小学部、中学部ともに学年内のつながりだけではなく、学年を超えた新しいつながりが生まれています。転出入の多い日本人学校での出会いは、まさに「一期一会」の出会いです。たくさんの人と関わって、広州での生活を充実したものにしてほしいです。

